

- 小型・堅牢・嵌合時防水型
- パネル対電線接続用／電線中継接続用
- ネジ嵌合式・圧着結線式

## JB1 Series

JB1シリーズは、産業機械、計測機器、屋外用電子機器(移動体通信基地局、監視カメラ等)等をはじめとする各種電子機器の外部接続用として最適な、プラグ外径φ18mmの小型、防水型コネクタです。

コネクタ嵌合時に、保護等級IP67クラスの防水・防塵性を有する構造で、外部からの水、油、塵等の侵入を防止します。

結線方法は作業性の良い圧着式で、使い易いコネクタです。

コネクタはレセプタクルとプラグで構成され、レセプタクルはパネルへの取付けが容易なジャムナットタイプとケーブル中継タイプがあります。

プラグ及び中継用レセプタクルはアースラグを内蔵し、ケーブルのシールド線を外殻部品に接地することができるEMI対策構造です。

レセプタクルとプラグの組合わせで、ケーブルとケーブル、パネルとケーブル間の電氣的接続に使用できます。

### 掲載項目

- 概要／用途
- 特長・材料／仕上
- コンタクト配列・一般仕様・種類／組合わせ・品名構成
- パネル取付レセプタクル／嵌合時防水型 (JB1CB)
- ケーブル中継用レセプタクル／嵌合時防水型 (JB1HB)
- ストレートプラグ／嵌合時防水型 (JB1DB)
- コンタクト・適用工具
- 圧着結線工具の取扱い方法(手動式: CT150-2-D02)
- 配線作業手順(プラグ側)
- コンタクトの引抜
- 組立作業手順(プラグ側)

### ■ご注意

当シリーズに掲載の結線機、コンタクト引抜工具等、工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

### ■主な用途

計測機器、サーボモータ、工作機械、FA機器、屋外用電子機器(移動体通信基地局、監視カメラ等)、通信機器、医療機器、半導体製造装置、その他各種電子・電気機器



# パネル対電線／電線中継接続用丸型コネクタ 小型・堅牢・嵌合時防水型・圧着結線式・JB1シリーズ

## ■特長・材料／仕上

### ■特長

#### ●パネル取付容易なジャムナットタイプ

レセプタクルのパネルへの取付けは、コネクタ本体をパネル表面より挿入後、パネル後面側から付属のジャムナットを市販のレンチ又はスパナで締付けるだけで容易に行えます。

#### ●圧着結線、スナップインプレスコンタクト

(コネクタ本体とは別にご発注ください。)

高信頼のローコスト・プレスコンタクトの採用と量産化によって、大幅なコストダウンを実現。ケーブルの結線は専用工具による圧着式ですから、熟練を必要とせず仕上りの個人差もなく均一にできます。コンタクトは結線後コネクタの後面よりインシュレータに挿入します。

圧着結線用工具には少量用に便利な手動式圧着工具と多量用に半自動圧着機があります。

工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

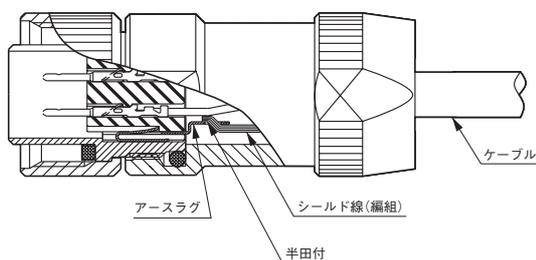
#### ●嵌合時防水構造

嵌合時は、保護等級IP67クラスの防水・防塵性により、外部からの水、油、塵等の侵入を防止する耐環境構造です。

(注)「IP67」は、IEC規格(IEC529)による保護等級です。

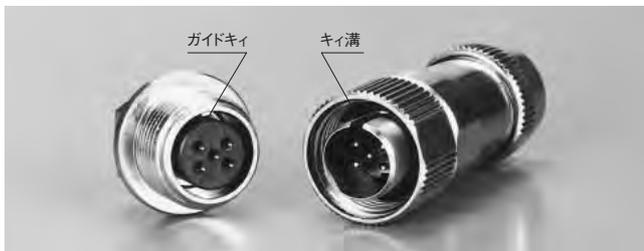
#### ●EMI対策型

プラグ及び中継用レセプタクルはアースラグを内蔵し、ケーブルのシールド線を外殻部品に接地することができるEMI対策構造です。



#### ●誤嵌合防止機構

レセプタクルとプラグの嵌合は、初めに堅固な金属シェルが組合わり、次にピンコンタクトがソケットコンタクトに挿入され接触します。金属シェルの嵌合部にはガイドキヤとキヤ溝があり、キヤの案内により常に正常な位置で嵌合します。コンタクトやインシュレータに直接無理な応力が負荷されず確実に安全な嵌合ができます。



#### ●フロントリリース・コンタクト

結線されたコンタクトは、インシュレータの後面より挿入し、コンタクトランスで確実に保持されます。また回路変更や万一の誤配線が発生した場合、引抜工具をインシュレータの前面より挿入するだけで、容易にコンタクトを後面へ引抜くことができます。

工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

### ■材料／仕上

#### ●レセプタクル

構成部品	材料／仕上
シェル	亜鉛合金／ニッケルメッキ
インシュレータ	合成樹脂
ソケットコンタクト	銅合金／ニッケル上金メッキ(0.1μm以上)
Oリング	合成ゴム
ジャムナット	銅合金／ニッケルメッキ
ワッシャ	銅合金／ニッケルメッキ

#### ●中継用レセプタクル

構成部品	材料／仕上
シェル	亜鉛合金／ニッケルメッキ
インシュレータ	合成樹脂
ソケットコンタクト	銅合金／ニッケル上金メッキ(0.1μm以上)
アースラグ	銅合金／銀メッキ
エンドベル	アルミ合金／ニッケルメッキ
エンドベル止めネジ	鋼／ニッケルメッキ(M2)
Oリング	合成ゴム
グランドナット	亜鉛合金／ニッケルメッキ
ブッシング	合成ゴム(NBR／黒色又はEPDM／濃灰色)
ワッシャ	鋼／ニッケルメッキ
クランプバレル	銅合金／ニッケルメッキ

#### ●プラグ

構成部品	材料／仕上
バレル	亜鉛合金／ニッケルメッキ
カップリングナット	亜鉛合金／ニッケルメッキ
インシュレータ	合成樹脂
ガスケット	合成ゴム
ピンコンタクト	銅合金／ニッケル上金メッキ(0.1μm以上)
アースラグ	銅合金／銀メッキ
エンドベル	アルミ合金／ニッケルメッキ
エンドベル止めネジ	鋼／ニッケルメッキ(M2)
Oリング	合成ゴム
グランドナット	亜鉛合金／ニッケルメッキ
ブッシング	合成ゴム(NBR／黒色又はEPDM／濃灰色)
ワッシャ	鋼／ニッケルメッキ
クランプバレル	銅合金／ニッケルメッキ

■ **コンタクト配列・一般仕様・種類／組合わせ・品名構成**

■ **コンタクト配列**

極数	3極	5極	10極
コンタクト配列 (ピンインサートを嵌合側から見た図)			
コンタクト構成 (サイズ×極数)	#22×3極	#22×5極	#22×10極

■ **一般仕様**

極数	3, 5, 10極		
定格電流	3A以下(コンタクト1本当たり)		
定格電圧	AC300Vr.m.s.以下		
耐電圧	AC900Vr.m.s.(1分間)		
絶縁抵抗	5000MΩ以上(DC500Vにて)		
接触抵抗	適用電線 (AWG No.)	接触抵抗(初期)	
	#22	22mΩ以下	
	#24	24mΩ以下	
	#26	40mΩ以下	
	#28	54mΩ以下	
使用温度範囲	-30℃～+85℃		
適用電線	コンタクト サイズ	電線番号 AWG No.	適用コネクタ 極数
	#22-22	#22～#24	3, 5極
	#22-26	#26～#28	3, 5, 10極
防水性(嵌合時)	保護等級IP67相当(注)		

(注)「IP67」は、IEC規格(IEC529)による保護等級です。

■ **種類／組合わせ**

●パネル取付レセプタクル  
ソケットインサート  
JB1CB型



●ストレートプラグ  
ピンインサート  
JB1DB型



●ケーブル中継用レセプタクル  
ソケットインサート  
JB1HB型



●圧着型コンタクト(別売)  
ピン／ソケット



(注：写真のレセプタクルとプラグは、コンタクト装着状態)

■ **品名構成**

JB1CB05SL1-RK

JB1HB05SL5-RK

JB1DB05PL5-RK

⑧特殊記号

⑦モディフィケーションコード

⑥コンタクトサイズ

⑤コンタクト区分

④極数

③シェルサイズ

②形状

①シリーズ名

①シリーズ名

②形状：C…ジャムナット式パネル取付レセプタクル

H…ケーブル中継用レセプタクル

D…ストレートプラグ

③シェルサイズ：B

④極数：3, 5, 10極

⑤コンタクト区分：P…ピン、S…ソケット

⑥コンタクトサイズ：L…#22サイズ

⑦モディフィケーションコード

⑧特殊記号

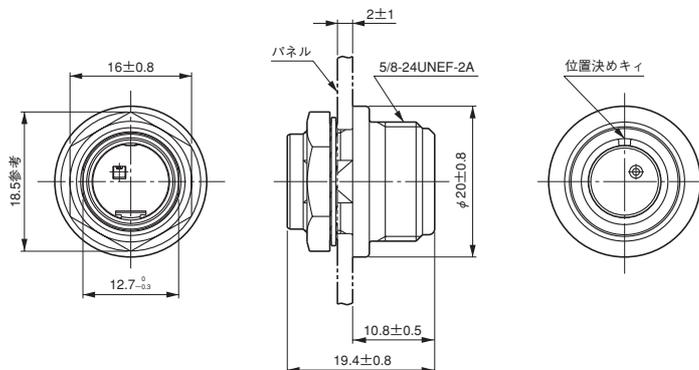
# パネル対電線／電線中継接続用丸型コネクタ 小型・堅牢・嵌合時防水型・圧着結線式・JB1シリーズ

## ■パネル取付レセプタクル(ソケットインサート)

### JB1CB(嵌合時防水型)／ジャムナットタイプ

嵌合相手コネクタ：JB1DB

単位：mm



(注1) パネル取付は、フロントマウンティング式です。

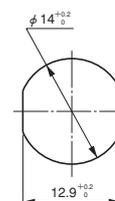
六角ナットの締付トルク： $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$   
取付強度をより強固にする方法として、ネジロック剤の使用を推奨します。別途取扱い説明書をご確認下さい。

(No. J AHL-5098-1)

(注2) コンタクトは別売品です。

125頁をご参照下さい。

パネル取付穴寸法(参考)  
(パネル厚さ：1mm～3mm)



## ■品名／種類

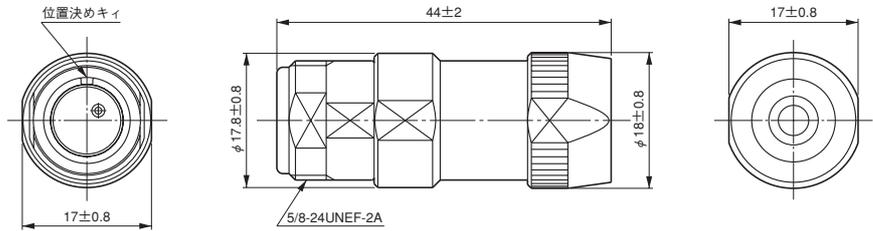
極数	品名	コンタクトサイズ	適用電線	
			サイズ(AWG No.)	被覆外径
3	JB1CB03SL1-RK	#22-22	#22～#24	$\phi 1.1 \sim \phi 1.3$
		#22-26	#26～#28	$\phi 0.8 \sim \phi 1.0$
5	JB1CB05SL1-RK	#22-22	#22～#24	$\phi 1.1 \sim \phi 1.3$
		#22-26	#26～#28	$\phi 0.8 \sim \phi 1.0$
10	JB1CB10SL1-RK	#22-26	#26～#28	$\phi 0.8 \sim \phi 1.0$

■ケーブル中継用レセプタクル(ソケットインサート)

JB1HB (嵌合時防水型)

嵌合相手コネクタ：JB1DB

単位：mm



(注) コントクトは別売品です。  
 125頁をご参照下さい。

■品名／種類

極数	品名	タイプ (ブッシング材料)	コンタクト サイズ	適用電線		
				サイズ(AWG No.)	被覆外径	シールドケーブル外径
3	JB1HB03SL5-RK	耐候用(EPDM)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ3.5±0.5
			#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	
5	JB1HB05SL5-RK	耐候用(EPDM)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ5±0.5
			#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	
10	JB1HB10SL2-RK	耐油用(NBR)	#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	φ5±0.5

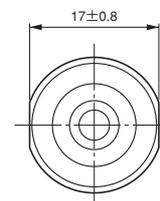
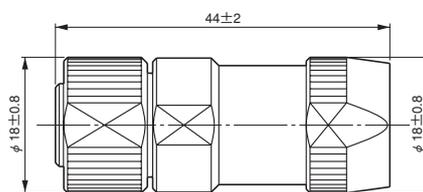
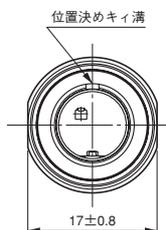
パネル対電線／電線中継接続用丸型コネクタ  
**小型・堅牢・嵌合時防水型・圧着結線式・JB1シリーズ**

■ストレートプラグ (ピンインサート)

JB1DB (嵌合時防水型)

嵌合相手コネクタ：JB1CB、JB1HB

単位：mm



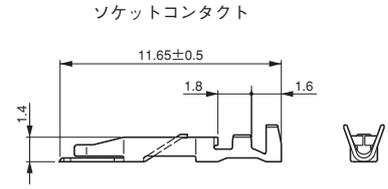
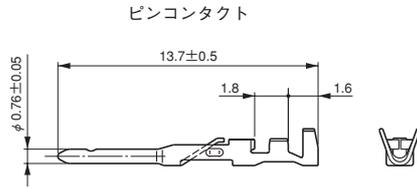
(注) コンタクトは別売品です。  
 125頁をご参照下さい。

■品名／種類

極数	品名	タイプ (プッシング材料)	コンタクト サイズ	適用電線		
				サイズ (AWG No.)	被覆外径	シールドケーブル外径
3	JB1DB03PL5-RK	耐候用 (EPDM)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ3.5±0.5
			#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	
5	JB1DB05PL2-RK	耐油用 (NBR)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ5±0.5
			#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	
	JB1DB05PL5-RK	耐候用 (EPDM)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ5±0.5
			#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	
10	JB1DB10PL2-RK	耐油用 (NBR)	#22-26	#26～#28	φ0.8～φ1.0	φ5±0.5
	JB1DB10PL7-RK	耐候用 (EPDM)	#22-22	#22～#24	φ1.1～φ1.3	φ9±0.5
#22-26			#26～#28	φ0.8～φ1.0		

■コンタクト・適用工具  
 圧着結線型

単位：mm



(注1) コンタクトは別売品です。  
 コネクタ本体と必要なコンタクトは個別  
 にご発注願います。

■材料／仕上：  
 銅合金／ニッケル上  
 金メッキ(0.1μm以上)

■品名／種類・適用工具

コンタクト サイズ	品名		適用電線		圧着工具		
	区分	リール(10,000本)	パッケージ(100本)	AWG No.	被覆外径	手動式圧着工具	半自動圧着機
#22-22	ピン	D02-22-22P-10000	D02-22-22P-PKG100	#22～#24	φ1.1～φ1.3	CT150-2-D02	プレス： CP215-5B アプリケーション： 3502-D02-2
#22-26		D02-22-26P-10000	D02-22-26P-PKG100	#26～#28	φ0.8～φ1.0		
#22-22	ソケット	D02-22-22S-10000	D02-22-22S-PKG100	#22～#24	φ1.1～φ1.3		
#22-26		D02-22-26S-10000	D02-22-26S-PKG100	#26～#28	φ0.8～φ1.0		

(注1) 手動式圧着結線手順については、次頁をご参照下さい。(半自動圧着機については、別途お問い合わせ下さい。)

(注2) コンタクト引抜工具(品名：ET-D02)も有ります。128頁をご参照下さい。

(注3) 工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

手動式圧着工具：  
 CT150-2-D02



コンタクト引抜工具：  
 ET-D02



■圧着結線工具の取扱い方法(手動式:CT150-2-D02)

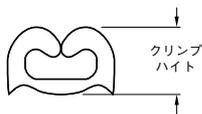
芯線及び被覆圧着型

(注) 工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。



工具品名	適用コンタクト品名	適用電線		工具圧着部表示
		AWG No.	被覆外径 mm	
CT150-2-D02	D02-22-22P-PKG100 D02-22-22S-PKG100	#22～#24	φ1.1～φ1.3	22-24
	D02-22-26P-PKG100 D02-22-26S-PKG100	#26～#28	φ0.8～φ1.0	26-28

①クリンプハイトの確認



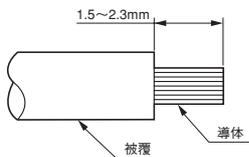
工具のクリンプハイトは予め調整して有りますが、不良圧着を防止するために、圧着作業前にクリンプハイトが規格値以内であることを確認して下さい。

規格値を超えている場合は、所定の圧着強度が得られない場合がありますのでご注意下さい。

●クリンプハイト規格値(電線無しでコンタクトのみ圧着した時の値)

工具品名	圧着部表示	芯線部 mm	被覆部 mm
CT150-2-D02	22-24	0.755	1.25
	26-28	0.570	1.20

②電線の被覆むき



電線の被覆むきの際、導体に傷がついたり、切れたり、乱れてないか点検して下さい。

③圧着工具のハンドル開放



コンタクトを挿入する前に、ハンドルを開放状態にします。未開放のままではコンタクトは挿入できません。ハンドルをいっぱいまで締め付けてから離すと、自動的に開放されます。

④コンタクトの挿入



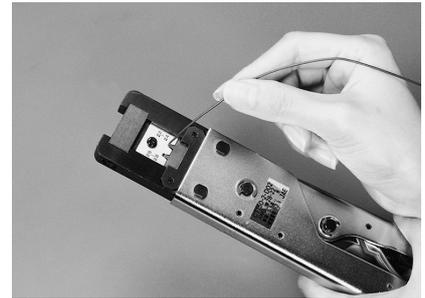
圧着するコンタクトを、接触部を先にしてロケータ内に挿入し、コンタクト先端がコンタクトストッパーに突き当たるまで挿入します。この時、コンタクトのバレルの開口部が上を向くように、コンタクトの倒れは修正して下さい。

本工具は、2つの圧着箇所を有していますので、電線サイズに合わせた位置を選んで下さい。(上表参照)

⑤電線の挿入

予め被覆むきした電線の先端を工具のクリンプパ内の芯線ストッパーに突き当て、被覆部をコンタクトの被覆バレル内に入れます。この時ストッパーに強く当てすぎると、電線が曲り、不良圧着となります。芯線が乱れているものは、予め矯正しておいて下さい。

⑥圧着



電線がコンタクトから抜け出さないように軽く押し付けながらハンドルを徐々に握り締め、ラチェットが外れるまで締め付けます。この状態で圧着結線は完了です。

⑦コンタクトの取り出し

圧着が完了後、力を抜くとハンドルは自動的に戻ります。電線を軽く引くとコンタクトは取り出せます。

⑧圧着後の確認

結線終了後、圧着結線部を確認して下さい。

参考：正しく圧着された状態

- (イ) 芯線先端が芯線バレルより出ている。
- (ロ) 芯線バレル内に被覆が食い込んでいない。
- (ハ) 芯線がバレルからはみ出していない。
- (ニ) 被覆バレル内に被覆が巻かれている。
- (ホ) 圧着面が過度にあれていない。

■取扱説明書ご案内

本カタログの他、手動圧着工具の取扱い説明書(No.T700092)が有りますので、ご確認下さい。

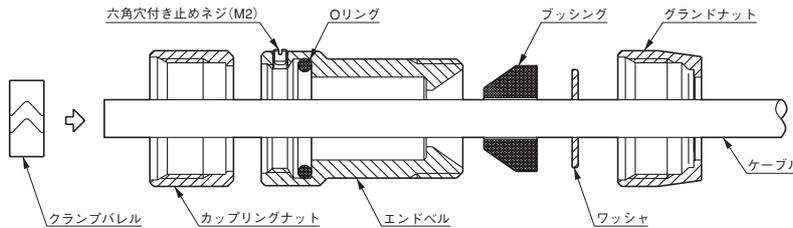
## ■配線作業手順(ストレートプラグ／ケーブル中継用レセプタクル)

単位：mm

### ●部品の挿入

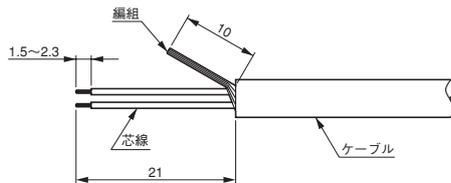
グラウンドナット、ワッシャ、ブッシング、エンドベル、カップリングナット(ストレートプラグのみ)を、圧着前に予め向きに注意して順番にケーブルに通してから結線を行って下さい。

また、適用ケーブル径 $\phi 9 \pm 0.5 \text{mm}$ の場合は、最後にクランプパレルをケーブルに通します。



### ●ケーブルの被覆剥き

ケーブルのシース剥き、線剥き及び編組の処理を下図のように行って下さい。

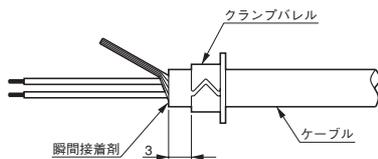


### ●クランプパレルの圧着

(ケーブル径： $\phi 3.5 \pm 0.5 \text{mm}$ 、 $\phi 5 \pm 0.5 \text{mm}$ の場合)

右下表の圧着工具を用いて、クランプパレルを下図の位置に圧着して下さい。(向きに注意)

圧着後、図示の位置に瞬間接着剤を少量塗布すると、クランプパレルの抜け防止に効果的です。



#### 適用圧着工具

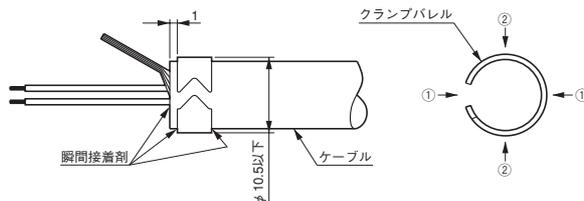
品名	適用ケーブル径	取扱説明書No.
CT150-6E-RH07	$\phi 3.5 \pm 0.5 \text{mm}$	T700194
CT150-6-RH07	$\phi 5 \pm 0.5 \text{mm}$	T700116

圧着工具の取扱方法については、取扱説明書が有りますのでご確認下さい。尚、工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。

(ケーブル径： $\phi 9 \pm 0.5 \text{mm}$ の場合)

ペンチ等の一般工具を用いて、クランプパレルを下図の位置に①、②の方向からかしめます。この時、クランプパレルが $\phi 10.5 \text{mm}$ 以下となるよう、形を整えながらかしめを行って下さい。

クランプパレルがエンドベルに収まることを確認した後、図示の位置に瞬間接着剤を塗布して、ケーブルとクランプパレルを確実に固定して下さい。



# パネル対電線／電線中継接続用丸型コネクタ 小型・堅牢・嵌合時防水型・圧着結線式・JB1シリーズ

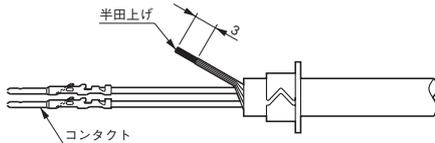
## ■配線作業手順(ストレートプラグ／ケーブル中継用レセプタクル)

### ■コンタクトの引抜

単位:mm

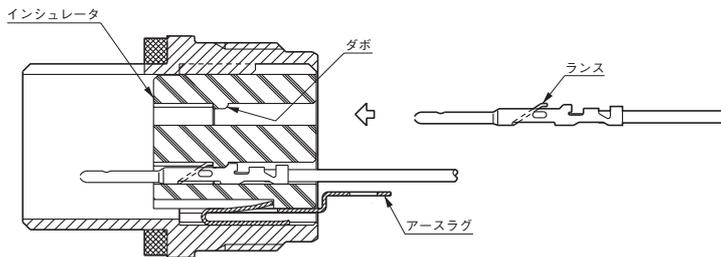
#### ●編組の処理／コンタクトの圧着

編組は所定の長さに切断してひとまとめにし、先端3mmを半田上げて下さい。  
125頁の適用圧着工具を用いて、コンタクトに電線を圧着して下さい。  
手動式圧着工具の取扱方法:126頁参照(半自動圧着機については、別途お問い合わせ下さい。)



#### ●コンタクトの装着

電線を圧着したコンタクトは、指定の端子番号に装着して下さい。  
本コネクタは、コンタクトの係止用ランスがインシュレータのダボに引っ掛り、コンタクトを保持する構造になっています。コンタクトはインシュレータ面より挿入します。この時、コンタクトランスの向きに注意して下さい。コンタクトの向きが逆になっていると装着できません。  
細い電線の挿入時は、コンタクトの端面をピンセット又は竹べら等で押して装着して下さい。  
装着完了時点で電線を軽く後方へ引っ張り(15N以下)、コンタクトの装着不足等が無いよう確認して下さい。



### ■コンタクトの引抜

コンタクト引抜き工具

品名:ET-D02



コンタクトの装着ミスや回路変更等が発生しコンタクトをインシュレータから抜く場合は、次のように行って下さい。

- ①専用の引抜き工具先端をインシュレータ前面(嵌合側)よりコンタクト孔に挿入し、コンタクトランスを倒します。
- ②引抜き工具をインシュレータに差し込んだ状態で、コンタクトを後方に引抜いて下さい。  
コンタクトのランスがインシュレータのダボから外れ、コンタクトは後方へ抜けます。
- ③一度抜き取ったコンタクトは、接触部の変形を確認して下さい。変形している場合はコンタクトの再使用を避けて下さい。

(注) 工具類のRoHS対応については、別途弊社営業部までお問い合わせ下さい。



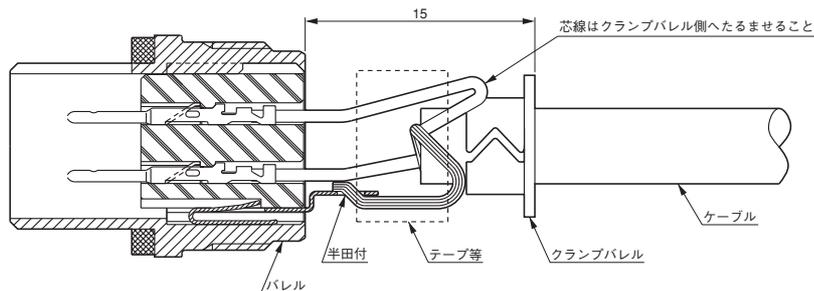
[ピンコンタクトの場合]

[ソケットコンタクトの場合]

## ■組立作業手順(ストレートプラグ／ケーブル中継用レセプタクル)

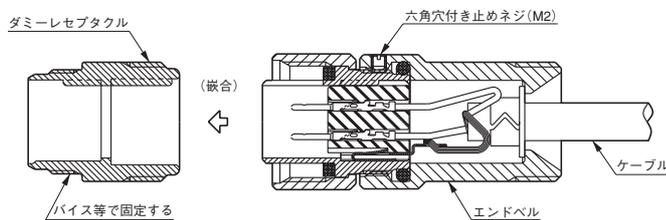
### ●編組の半田付

- ①パレル又はシェルとクランプパレルとの間隔が15mm程度となるように、下図の如く芯線をたるませて両者を引き付けます。  
エンドベルを組む際、パレル又はシェルとエンドベルの間に芯線をはさんでしまう恐れがありますので、芯線はクランプパレル側へたるませるようにして下さい。
- ②編組をアースラグに半田付して下さい。半田付は手早く行い、長時間アースラグに半田ごてをあて過ぎないようにご注意ください。  
また、編組を半田付後、芯線部分をテープやチューブ等でまとめておくと、エンドベルを組む際に芯線のはさみ込みを防止できます。



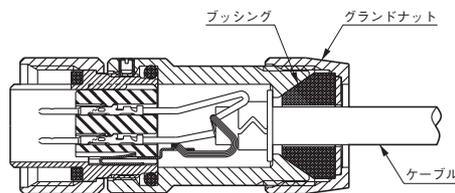
### ●エンドベル・グラウンドナットの締付

- ①エンドベルの締付け:コンタクトの圧着、コネクタへの装着及び編組の半田付終了後、下図の如くエンドベルをコネクタ本体(プラグ)に締付けます。(注1) 尚、締付けにはトルクレンチを使用して下さい。(設定トルク:  $1.5 \pm 0.1 \text{N} \cdot \text{m}$ )
- ②エンドベルに付いている六角穴付きエンドベル止めネジ(M2)を六角レンチで締めます。(締付トルク: 約  $0.2 \text{N} \cdot \text{m}$ )



(注) 上図はストレートプラグで記載。

- ③グラウンドナットの締付け: プッシングを所定の位置に移動し、この位置をずらさないようにケーブルを押さえながらエンドベルとプッシングを合わせ、その状態を保持しながらグラウンドナットを締付けます。(注1)に記載したパネルやバイス等の治具を使用して、ケーブルを押さえながらグラウンドナットを締付けて下さい。尚、締付けにはトルクレンチを使用して下さい。(設定トルク:  $2.0 \pm 0.1 \text{N} \cdot \text{m}$ )



(注) 上図はストレートプラグで記載。

(注1) エンドベル及びグラウンドナットを締付ける際には、パネルやバイス等に固定されたダミーレセプタクル又はダミープラグを用いて相手側コネクタと嵌合状態で行うと作業性が良くなります。

■コネクタの取扱い方法、注意事項等の詳細については、別途取扱い説明書 (No. JAHL-5098-1) をご確認ください。

---

## カタログ掲載資料について

取り扱い説明書／工具関連資料等、コネクタカタログに掲載の資料をご希望の場合は、お手数ですが、下記お問い合わせ画面より、電子メールにてご要求をお願い致します。

[https://www.jae.com/contact/jp/ask/connector\\_con/](https://www.jae.com/contact/jp/ask/connector_con/)

また、お問合せ頂いても資料のご用意が無い場合もございます。大変恐縮ですが、予めご了承願います。

## ご注文に際してのお願い

- q 本カタログに記載の仕様は、参考値です。製品及び仕様については、予告無く変更する場合があります。  
記載製品のご採用のご検討やご注文に際しては、予め弊社販売窓口までお問い合わせのうえ、「納入仕様書」の取交わりをお願いします。
- w お客様におかれましては、保護回路や冗長回路等を設けて機器の安全を図られると共に、弊社製品の適合性について十分にご確認をお願いします。
- e 本カタログ記載の製品は、下記の推奨用途に使用されることを意図しております。従いまして、推奨用途以外へのご使用又は極めて高い信頼性が要求される特定用途へのご使用をお考えの場合は、必ず事前に弊社販売窓口までご相談下さいますようお願い申し上げます。

### (1) ご相談いただく用途例：

(イ) 下記用途でお客様指定又は産業分野固有の品質保証プログラムが有る場合は、ご相談下さい。

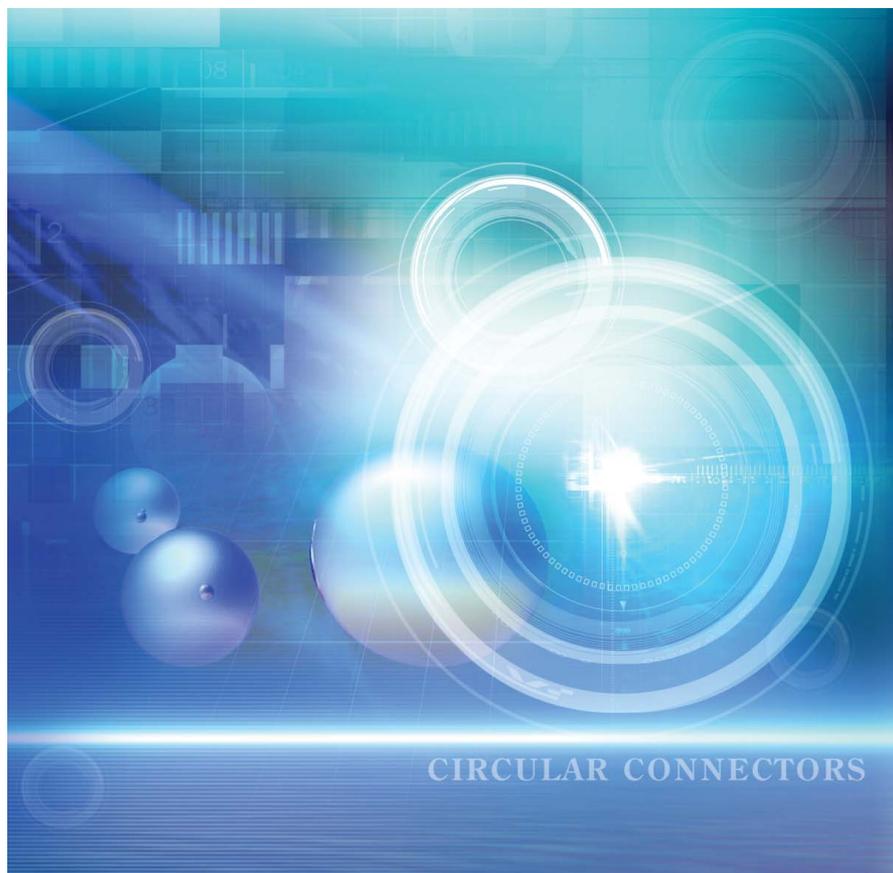
**\*用途例：**自動車電装、列車制御、通信機器(幹線)、交通信号制御、電力、燃焼制御、防火・防犯装置、防災機器、等。

(ロ) 下記特定用途へのご使用をお考えの場合は、お客様指定の品質保証プログラムにて別途承る場合があります。

**\*特定用途例：**航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器、等。

(2) **推奨用途例：**電算機、事務機、通信機器(端末、移動体)、計測機器、A V機器、家電、F A機器、等。

## 丸型コネクタ



**JAE** 日本航空電子工業 株式会社

〒153-8539 東京都目黒区青葉台3-1-19 (青葉台石橋ビル)

<https://www.jae.com>

お問い合わせは「カスタマサポートグループ」へ  
[https://www.jae.com/contact/jp/ask/connector\\_con/](https://www.jae.com/contact/jp/ask/connector_con/)